

令和8年度 滋賀県立大学 一般選抜 後期日程 公表用解答

数学		1
化学		2～3
小論文(環境生態学科)		4
小論文(環境社会システム学科)		5
小論文(人間文化学部)		6
造形実技		7
デッサン		8

年度・科目・区分:

令和8年度・数学・後期日程

問題番号			正解 解答例 出題の意図	内容
大問	小問	枝問		
			出題の意図	全体としては、理系数学の範囲において、基本的な学習事項を十分に理解し、その運用力が身についているか、さらに論理的な思考力も身についているかを、論述式の解答形式によってみる。
1	(1)		出題の意図	3次多項式を題材として、倍数、剰余に対する理解力と、数式の展開・整理などに基づく論述力をみる。
	(2)		出題の意図	対数と三角関数に関する関数の最大値問題を題材にそれらの微分法に関する基本事項を問う。
	(3)		出題の意図	楕円と双曲線を題材にして、焦点などの2次曲線としての特徴に関する基本事項を三角比の基本問題に絡めて問う。
2			出題の意図	3次方程式を題材に、各小問における題意を満たす解の具体的な見極めと、それに基づく2次方程式の判別式などを用いた論述力をみる。
3			出題の意図	対数関数を含む関数に対する基本的な導関数と不定積分の計算が正確にできるかをみるとともに、その接線問題に対しては、関数の増減などに基づく論述力をみる。

年度・科目・区分:

令和8年度・化学・後期日程

問題番号			正解 解答例 出題の意図	内容
大問	小問	枝問		
I	1		正解	ア:クーロン力(静電気力または静電的な引力), イ:酸素(O), ウ:水素(H), エ:水和
	2		解答例	カリウムイオンの方が原子核中の陽子数が多く, 原子核が電子をより強く引き付けるため。
	3		解答例	水分子には電気陰性度の差に由来する極性が酸素原子と水素原子の共有結合間にある。 また, 分子の形が酸素を中心とする折れ線形であるため, 分子全体では極性が打ち消されず, 極性が残るため。
	4	i	正解	③
		ii	正解	過冷却
		iii	解答例	液体から固体への状態変化に伴い, 凝固熱が放出されるため。
	5		正解	4.4×10^{-1} (g)
	6		正解	$2\text{Al} + 2\text{NaOH} + 6\text{H}_2\text{O} \rightarrow 2\text{Na}[\text{Al}(\text{OH})_4] + 3\text{H}_2$
	7		正解	陽極: $2\text{Cl}^- \rightarrow \text{Cl}_2 + 2\text{e}^-$ 陰極: $\text{Na}^+ + \text{e}^- \rightarrow \text{Na}$ ($2\text{Na}^+ + 2\text{e}^- \rightarrow 2\text{Na}$)
	8		正解	1.9×10^{-8} (cm)

年度・科目・区分:

令和8年度・化学・後期日程

問題番号			正解 解答例 出題の意図	内容
大問	小問	枝問		
Ⅱ	1		正解	ア:硫黄, イ:炭素, ウ:水素
	2		正解	強い還元性をもつ化合物 非共有電子対を3組もつ化合物 $\text{H}:\ddot{\text{S}}:\text{H}$ $\text{H}:\ddot{\text{Cl}}:$
	3	i	正解	-3
		ii	正解	化学反応式: $2\text{NH}_4\text{Cl} + \text{Ca}(\text{OH})_2 \rightarrow 2\text{NH}_3 + 2\text{H}_2\text{O} + \text{CaCl}_2$
			正解	方法:上方置換
			解答例	理由:アンモニアは空気よりも軽く, 水に溶けやすいため。
		iii	正解	記述(アルミニウム):溶けない
			解答例	理由(アルミニウム):表面に緻密な酸化物の被膜を形成する不動態となるため, アルミニウムは濃硝酸に溶けない。
			正解	記述(銅):溶ける
			理由	理由(銅):濃硝酸は酸化力が強く, イオン化傾向の小さい金属とも反応するため, 銅は濃硝酸に溶ける。
		iv	正解	4.0×10^{-10} (mol/L)
		v	正解	5.4

年度・科目・区分:

令和8年度・小論文(環境生態学科)・後期日程

問題番号			正解 解答例 出題の意図	内容
大問	小問	枝問		
			出題の意図	選択した環境問題について、正しい日本語を用いて論理的に自分の考えを述べているかどうかを問う。

年度・科目・区分:

令和8年度・小論文(環境社会システム学科)・後期日程

問題番号			正解 解答例 出題の意図	内容
大問	小問	枝問		
1	1		出題の意図	設問内容を定式化する力を問う。
1	2		出題の意図	設問にある数理モデルの性質について理解し、適切に表現する力を問う。
1	3		出題の意図	行動経済学の指摘にあわせて、事例を導く力を問う。
1	4		出題の意図	数理モデルで得られた結果や自身の知識に基づき、論理的に考察する力を問う。
2	1		出題の意図	文章の内容を把握した上で、筆者が述べている箇所を見つけ、その内容を理解する読解力を問う。加えて記述を適切に要約したり言い換えたりできる表現力を問う。
2	2		出題の意図	文章全体の内容を適切に理解できる読解力、および適切な文章を通じて説明できる表現力を問う。また、自分の考えや意見をつくり出せる思考・判断力を問う。加えて、それらを適切な文章を通じて表明できる文章力を問う。

年度・科目・区分:

令和8年度・小論文(人間文化学部)・後期日程

問題番号			正解 解答例 出題の意図	内容
大問	小問	枝問		
1	1		出題の意図	文章の読解力と、それを前提とした想像力に基づく文章能力を問う設問である。知識量を問うのではなく、芸術活動の空間や関わる人々の多様な役割について幅広く考えられるかどうかをみる。
	2		出題の意図	読解力を前提とした自己表現力、文章能力をみる。問いの趣旨を的確に把握し、身近な例にあてはめて考察できているか、自分の言葉で回答できるかを問う。
2	1		出題の意図	文章の読解力と、要約を含めた文章能力を問う設問である。文章全体から関連する箇所を抽出し、筋の通った文章を構成する力が求められる。
	2		出題の意図	読解力に加え、それを前提とした自己表現力、具体的な事柄を挙げて論理的に自分の考えを述べる力、文章能力の総合性を問う設問である。

年度・科目・区分:

令和8年度・造形実技・後期日程

問題番号			正解 解答例 出題の意図	内容
大問	小問	枝問		
			出題の意図	問題への解答を通して、理解力、構想力、創造性、構成力、表現力を評価するものである。 ・理解力: 試験問題の指示内容を正しく理解できているか。 ・構想力: 明確な考えにもとづく解答が示されているか。 ・創造性: 与えられた条件のもとで形をつくり出すことができ、創意工夫や独自性が作品に見られるか。 ・構成力: 構成の意図が明快で、審美性がある空間となっているか。 ・表現力: 質感や陰影の表現にすぐれているか。また、視点や視界の設定にすぐれているか。

年度・科目・区分:

令和8年度・デッサン・後期日程

問題番号			正解 解答例 出題の意図	内容
大問	小問	枝問		
			出題の意図	この問題では、「折り曲げる」というテーマから連想されるイメージを立体的に構成し、展開する能力を求めています。紙と人間の手という質感の差を描き分ける力、平面と曲面の違いを的確に表現できることを問うています。また、日常生活での観察力、素材の表現、人体の観察、描写力といったデッサンの基本的な能力を求めています。